

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 1 日 (2012.11.1)

【公開番号】特開 2011-107640 (P2011-107640A)

【公開日】平成 23 年 6 月 2 日 (2011.6.2)

【年通号数】公開・登録公報 2011-022

【出願番号】特願 2009-265474 (P2009-265474)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/645 (2006.01)

H 0 4 N 5/64 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/00 3 5 0 Z

H 0 4 N 5/645

H 0 4 N 5/64 5 7 1 Q

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 12 日 (2012.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

壁に取り付けられた固定具に固定可能な画像表示装置であって、  
画像表示パネルと、  
該画像表示パネルを収容する筐体と、  
前記筐体の背面壁と画像表示パネルの背部との間に介在するスペーサと、  
筐体の背面壁とスペーサとを貫通して前記画像表示パネルの背部に捻じ込まれるネジ部  
材を備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】

前記固定具に連結されるべき連結部材を更に具え、  
該連結部材の少なくとも一部が筐体の背面壁と画像表示パネルの背部との間に介在し、  
前記ネジ部材が、前記筐体の背面壁、連結部材、及びスペーサを貫通して画像表示パネ  
ルの背部に捻じ込まれている請求項 1 に記載の画像表示装置。

【請求項 3】

前記スペーサは、前記連結部材に形成された隆起部である請求項 2 に記載の画像表示装  
置。

【請求項 4】

前記隆起部は、前記連結部材の一部を屈曲させることによって形成されている請求項 3  
に記載の画像表示装置。

【請求項 5】

壁に取り付けられた固定具に対し固定可能な画像表示装置であって、  
画像表示パネルと、  
該画像表示パネルを収容する筐体と、  
該筐体の内部であって前記画像表示パネルの背部に設けられた連結部材と、  
該連結部材に設けられ、前記固定具に該画像表示装置を固定するためのボルトをねじ込  
むための雌ネジ部と、

前記筐体の背面壁に設けられ、前記ボルトを貫通させるための貫通孔を備えることを特徴とする画像表示装置。